

1	スクール・ミッション	「信愛・気魄・創造」を教育目標とし、個に応じたきめ細かな学習を重視することで、言語能力、問題発見・解決能力、情報活用能力等を伸ばし、豊かな人間性や責任をもって成し遂げる気概と忍耐力、常に新しいものを創造する生徒を育成します。			
	アドミッション・ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人の話を聴き、共感する心もちつつ、自分の意見をもち、自分の言葉で表現できる生徒</li> <li>2 仲間を大切にし、学び合い、育ち合うことにより、自らを高めようとする生徒</li> <li>3 地道な努力を続け、忍耐力をもち、その自信に裏打ちされた自己肯定感をもつ生徒</li> </ol>			
	生徒に身につけさせる力(1)	(1) 学習スキル…物事を計画する力、情報活用能力、ノートテイキング等 (2) 自己研鑽…教養、資格・検定、健康な体づくり (3) 学力…読解力、論理的思考力、思考判断表現力、自ら学ぶ力 (4) 課題解決力…チャレンジ精神、自分で考えて創造する力、自立する力、創造力、継続力、決断力			
2	(1) 学校経営		(2) 学習指導・進路指導		
	ア 組織	イ 施設・設備	ア 学習指導	イ 進路指導	
3	(ア) 教育職員	(イ) 行政職員	◆卒業までに「何ができるようになるのか」を見通した学習指導。 ◆学習や進路に関する教員の期待の表明 ◆生徒の深い学びと学力の定着を図る授業計画の作成。 ◆個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実。 ◆アクティブラーニング型授業の利用促進。自学自習の支援。 ◆教員相互の授業研究の実施	◆広い視野と挑戦心の育成を図る。 ◆将来の進路決定のために深い学びと幅広い教養を身に付けさせる指導。 ◆進路、学年、教科等の連携を深め、組織的で系統的な進路指導体制を構築。	
	◆生徒の進路実現に向けた学習指導を展開し、良好なコミュニケーション、教員の協働、同僚性の高い組織環境のもと、一丸となって学校経営上の課題解決に取り組む。 自己研鑽に励むとともに、人材育成を目指したOJT活動を推進する。ハラスメントや服務事故のない職場を維持する。	◆適正な予算編成と執行など財務管理及び安全な教育環境の維持・管理を徹底するとともに、学校経営を支える企画提案に取り組む。また、ハラスメントや服務事故のない職場を維持する。 行政職員の学校運営への参画意識の向上。	◆施設・設備を安全に維持・管理するとともに、その充実・改善を図って教育効果の一層の向上を図る。特に校舎老朽化に伴う、腐食箇所や破損箇所の迅速な把握と修繕は必須。	◆教員一人ひとりの授業力を高めるため、「生徒が主体的に活動する場面を取り入れた授業」の展開。 ◆学習到達目標の明示。 ◆授業毎、もしくは単元ごとに生徒の関心を引き出す「問い」をたてること。 ◆授業改善に関する情報を共有する研修会を計画的に実施。 ◆個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための教科会の実施。 ◆英語4技能習得のための実践的指導。 ◆スキルアップ推進事業をとおし、生徒のグローバルスキルやデジタルスキルの伸長を促進。	◆早期の発達段階から進路意識を高める工夫を図り、自己実現に向けた目標を持たせる。外部講師による生徒向け進路講演会を実施し、面談や出願校指導に活用。 ◆自らの適性を知り、進路に見通しを持ち、それに沿った学びを構築。 ◆義務教育学校からのキャリア・パスポートを引き継ぎ、生徒自らが将来像を描けるよう進路行事を計画し、主体性の涵養を図る。 ◆ポートフォリオを利用した振り返りによる意識の向上。
(1) 教育目標と方策	◆学校経営計画、分掌目標、職層に沿った明確で具体的な目標を策定し、その達成に向けて教員間で連携するため、達成時期、数値目標等を自己申告書に明記し、達成に向けて計画的に取り組む。 ◆新たな課題、解決方法を積極的に発見し、解決案を提示する。 ◆校内研修、企画調整会議、職員会議等による教育課題の共有化。 ◆ライフワークバランスの取組の推進。 ◆産業医、安全衛生委員会の活用。	◆中期的な視点に立脚した自律経営推進予算の編成と効率的な執行。 ◆学校における働き方改革プランに基づき、ライフワークバランスの実効性を向上させるため、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図る。 ◆副校長と連携し、遅滞なく計画的に業務を推進。また、校内施設・設備の安全点検と増改修推進のための支援センター、高等学校教育課との折衝を随時実施。 ◆教員と経営企画室との連携、意思疎通を進め、双方にとって効率的な業務改善を行う。	◆施設・設備の安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修や改善を要する施設・設備については増改修要望を利用して学校経営支援センター等と連携して教育環境の維持改善及び向上を図る。 ◆複数年度にわたる中期的計画の作成。 ◆感染症予防対策のための施設設備の改善充実及び衛生管理用品の十分な確保。 ◆生徒や教職員の実態に即した学校危機管理計画の更新。	◆教員一人ひとりの授業力を高めるため、「生徒が主体的に活動する場面を取り入れた授業」の展開。 ◆学習到達目標の明示。 ◆授業毎、もしくは単元ごとに生徒の関心を引き出す「問い」をたてること。 ◆授業改善に関する情報を共有する研修会を計画的に実施。 ◆個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための教科会の実施。 ◆英語4技能習得のための実践的指導。 ◆スキルアップ推進事業をとおし、生徒のグローバルスキルやデジタルスキルの伸長を促進。	◆早期の発達段階から進路意識を高める工夫を図り、自己実現に向けた目標を持たせる。外部講師による生徒向け進路講演会を実施し、面談や出願校指導に活用。 ◆自らの適性を知り、進路に見通しを持ち、それに沿った学びを構築。 ◆義務教育学校からのキャリア・パスポートを引き継ぎ、生徒自らが将来像を描けるよう進路行事を計画し、主体性の涵養を図る。 ◆ポートフォリオを利用した振り返りによる意識の向上。
(2) 重点目標と方策	◆基幹会議での議論の活性化による学校経営の一層の充実・改善。 ◆体罰や個人情報漏洩等の服務事故の防止。 ◆コンプライアンスの向上と校務分掌間で業務を横断的に連携して遂行。 ◆若手教員等の人材育成に際し、主幹教諭、主任教諭等は自己申告書に人材育成に関する目標を明記。 ◆業務の見直しと業務効率化による業務の偏りを解消。 ◆生徒の実態を鑑みた教育課程の点検と見直しを各教科で進め、生徒の視点に立った編成を検討。 ◆合理的かつ効果的・効率的な視点を重視した生徒による授業評価の実施。 ◆校内DXの推進に向けた校内研修等に積極的に参加し、知識・技能の向上を促進。	◆経営企画室職員は、経営企画室長の管理の下、職務に精通するとともに学校運営に対し、積極的に提案。 ◆付加価値の高い業務を推進するため、効果的な教育活動、生徒の安全管理について、優先順位を明確的にして予算を計画。 ◆効率的で有効な予算活用を心掛け、適正かつ迅速な予算執行を行う。 ◆進行管理を適切に行うとともに、報告、連絡、相談の徹底を図り、責任と意欲のある業務を遂行する。 ◆企画型・経営参画型の運営に努め、専門性に応じた業務を遂行。 ◆地域からの信頼が得られるように「受容・傾聴・共感」の態度で誠実に丁寧に接遇。	◆校舎の老朽化を踏まえ、生徒の健康と安全を確保するために都教育委員会への働き掛けを継続。 ◆TEPROとの連携を円滑に進め、施設修繕の迅速化を図る。 ◆デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るために必要な取組を実施するに当たり、必要となる機器を購入。 ◆校内で落ち着いて学習できる学習スペースを確保する等、生徒の学習環境を整備。 ◆日常的に実験及び実習で使用する器具の安全点検を励行。	◆生徒の主体的な学習に繋がる授業方法や予習・復習について全教員で検証実施。 ◆教科内及び教科を越えて他教員の教材研究や指導方法を参考にする観点から、相互の授業参観を促進。年間3回以上の授業を相互参観し、授業参観シートに記録。 ◆一人1台端末を活用した探究的な学びを強化。 ◆教育データを利活用し、授業の適正さや定期考査の適正さについて検討するとともに各生徒の弱点等を確認し助言。 ◆観点別学習状況評価の在り方を検討・検証し、各教科が到達目標を明確にして、学力向上を推進。 ◆スキルアップ推進事業「職場体験」を通じ、生徒のコミュニケーションスキルを伸長。 ◆実用英語技能検定及び日本漢字能力検定等の検定指導を促進させ、生徒の学習意欲を活性化。 ◆協働的な学びの以前に、習得・活用・探究の流れを確認。	◆外部機関と連携した各種講習会を開催するとともに、総合型選抜等に対する進路指導を強化。 ◆模擬試験等の結果を活用して、生徒全体の学習理解度を分析し、授業に反映。 ◆進路指導部が主導して進路企画を立案し、学年間の連携を重視して、系統的な進路指導を構築。 ◆進路希望に応じた、長期休業期間中の講習会等を計画・実施。 ◆就職指導や公務員試験対策、看護・保育・福祉系の進路指導にも幅広く柔軟に応じ、生徒の進路実現を支援。 ◆多様な進路希望に応じることができるよう教員向けの校内研修を企画・運営。
(3) 数値目標	(数値目標1) ・進路決定率 94% (前年度 91.8%) ・私立大学(日東駒専)合格者数 8名 (前年度 6名) ・大学・短大進学学者数の割合 50% (前年度 40.2%) ・大学・短大合格証本人数 90名 (前年度 74名) ・部活動加入率 70% (前年度 60.0%)				

<p><b>カリキュラム・ポリシー</b></p>	<p>①学習スキル、②自己研鑽、③学力、④課題解決力、⑤コミュニケーション能力、⑥規範意識、⑦人格を本校において育成すべき資質・能力とし、これらの資質・能力を育成するために教育課程を編成・実施し、学習評価を行う。</p>													
<p><b>グラデュエーション・ポリシー</b></p>	<p>いつも感謝を忘れず、自他を尊重し、共に社会を支えることにやりがいをもてる人間</p>													
<p><b>生徒に身につけさせる力(2)</b></p>	<p>(5) コミュニケーション能力…人の話を聞いて理解する、社会性、人の気持ちを思いやる、相手を尊重する、自分の意見を相手に伝える、協調性、言葉遣い (6) 規範意識…基本的な生活習慣、自らを律する力、規則を守る、時間を守る (7) 人格…忍耐力、義理・人情、誠実さ、自己肯定感</p>													
<p>(3) 生徒の健全育成と心身の健康</p>		<p>(4) 特別活動</p>		<p>(5) 地域貢献</p>	<p>(6) 広報活動</p>									
<p><b>ア 健全育成</b></p>	<p><b>イ 心身の健康</b></p>	<p><b>ア 行事等</b></p>	<p><b>イ 部活動</b></p>	<p>◆保護者・地域との絆を深めることによる応援者の獲得。地域に認められる学校となるために、規律・規範意識の育成、挨拶指導等を推進するとともに地域との連携を促進。 ・学校施設開放や公開講座を利用し地域との連携を図る。</p>	<p>◆教育活動の広報を通して、地域社会や地域の学校に本校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、より学び意欲の高い生徒の募集を目指す。学校PR動画を更新し、学校ホームページを活用した広報活動を積極的に展開。学習塾や近隣中学校への訪問を検討。</p>									
<p>◆社会人として公共心、道徳心を涵養し、規律・規範の育成や社会貢献の意識と自己指導能力を醸成する。 ・基本的生活習慣の確立、時間管理の意識向上を図る。 ・授業、部活動、ホームルーム活動等とおしてコミュニケーション能力を育成。</p>	<p>◆心と体の健康を守り、安心して学校生活を送れる環境整備。教育相談、生徒支援体制の一層の強化を図るとともに、生涯にわたる健康維持、増進に必要な基礎知識を育成。</p>	<p>◆学校行事を通して、情操を豊かにするとともに、健全な帰属意識を醸成。また、ホームルーム活動等とおして、お互いに高め合う集団を育成。</p>	<p>◆部活動への積極的な参加を奨励し、心身の健康を増進し、文化教養を高める。地域に貢献する活動とおして社会性の涵養を図る。</p>											
<p>・チャイム着席を励行し、授業に集中する環境や意識を向上。 ・身に付けるべき社会性を育成。 ・時間の順守(遅刻防止)、身だしなみ、挨拶の励行を指導の重点に据え、生活指導部と学年が連携して指導。 ・組織的な清掃と美化活動の指導を徹底。 ・生活指導を推進する中で、自己指導能力の醸成を図り、基本的生活習慣を確立。 ・視聴覚教材等によりSOSの出し方に関する教育を推進。</p>	<p>・定期的に特別支援委員会を開催し、潜在的に課題を抱える生徒への支援体制を構築。 ・食育リーダーを中心とした食育の推進。 ・SC、特別支援教育コーディネーター等を中心とした研修会の開催。 ・生徒主導でSNS学校ルールを改訂するとともに、いじめを未然に防止するため、あらゆる教育活動の中で多様性と共通性に触れ、人権尊重の理念のもと、思いやりの心を醸成。 ・心身の不調等、生徒の変化に機敏に気づき、学年団や管理職と情報を共有して、早期に対応。</p>	<p>・体験、交流、探究ができる特別活動を企画し、社会人に向けての人間性や社会性を育成。 ・生徒が主体となって帰属意識が保てるように、生徒による企画運営を側面から組織的に支援。 ・文化、芸術に親しむ行事、防災に係る活動に親しむ行事、体育活動に親しむ行事、読書活動に親しむ行事、主権者意識を高める学校行事の実施。</p>	<p>・部活動への参加を奨励し、文化活動や体育活動とおして、生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。 ・主体性のある生徒を育成するための指導スキルを教員が身に付け、特別活動及び授業において実践。 ・部活動の所属意識を高める活動を企画し、異校種の学校や地域社会との連携を計画。 ・定期的に義務教育学校向けの部活動体験等を企画・実施。</p>	<p>・地域行事への参加や地域との交流活動を推進し、積極的に社会参加、社会貢献しようとする態度を育成。 ・地域からの信頼が得られるように「受容・傾聴・共感」の態度で誠実に丁寧に接遇。 ・地域社会と連携した防災訓練を実施し、大規模災害時の行動規範を確認。</p>	<p>・学校PR動画を常時更新するとともに、学校見学会、学校説明会、校外での進路説明会等を教職員全員で企画・運営・実施。 ・#だから都立高(PRサイト)の新規コンテンツを企画・制作。 ・学校ホームページを随時更新し、生徒の充実した学校生活の様子を発信。 ・学校行事に近隣の方々や小中学生を招待し、本校の教育活動と生徒の様子を公開。</p>									
<p>・正しい生活習慣を醸成させるため、生活指導部を中心に教職員全員で、身だしなみの乱れや遅刻指導、スマホ等の不適切な使用について、粘り強く指導。 ・なぜ身だしなみの乱れや遅刻がいけないのか等を生徒に考えさせるように努め、生徒の自己指導能力を醸成。 ・視聴覚教材等によりSOSの出し方に関する教育を推進。 ・交通安全教室を通じて、自転車乗車時のヘルメット着用を推進。 ・主権者教育及び消費者教育の充実。 ・薬物乱用防止教育を教科指導等と連動させて実施。</p>	<p>・ケース会議等において生徒の変化に機敏に気づき、情報を共有して、早期に対応。 ・特別支援教育に関して教員全員が理解するための研修会を実施。 ・外部機関と連携した<b>発達障害の理解、教員のカウンセリング能力の向上</b>と教育相談体制の充実。 ・生徒主体にSNS学校ルールを策定し、情報活用能力の向上及びいじめの未然防止。 ・適切な運動習慣を確立させ、睡眠、休息、食事の摂り方等を見直させ、生涯を通して、健康で活力に満ちた生活デザインを確立。</p>	<p>・生徒が主体となって帰属意識が保てるように、生徒による企画運営を尊重し側面から組織的に支援。 ・修学旅行における平和学習を実施。 ・統合型学習支援システムを活用し、学校行事等を見直し。 ・学習活動と特別活動のバランスを考慮し、生徒の主体性や自己肯定感を醸成。 ・体験、交流、探究ができる特別活動を企画し、社会人に向けての人間性や社会性を育成。 ・ボランティアとしての体験的な活動の機会を生徒に促し実践。</p>	<p>・事故等の未然防止と緊急時の適切かつ迅速な対応の徹底。 ・部活動顧問や関係教員、スクールカウンセラー等による面談等を実施し、部員をサポート。 ・部活動の保護者会を開催し、保護者からの理解と支援体制を整備。 ・義務教育学校向けの部活動の体験講座等を企画・実施。 ・合理的かつ効果的で効率的な部活動の運営を推進。 ・部活動とおして地域の学校や他校との交流活動を拡大。</p>	<p>・SDGsの観点から地域の課題を発見し、課題解決策を提案。 ・NPO等の外部機関と連携して日本語指導が必要な生徒を支援。 ・光が丘地区祭への参加。 ・地域関係機関と連携した防災訓練を実施。 ・所属意識を高める活動を企画し、異校種の学校や地域社会との連携を計画。 ・学校施設開放や公開講座を利用し地域との連携を図る。</p>	<p>・学校ホームページの充実及びX(Twitter)等の活用により、学校行事や部活動等の教育活動の情報を発信し、生徒の充実した学校生活の様子を広報。 ・学校行事に近隣の方々や小中学生を招待し、本校の教育活動と生徒の様子を公開。 ・学校PR動画を随時更新するとともに、学校見学会、学校説明会、校外での進路説明会等を教職員全員で企画・運営・実施。 ・学習塾や近隣中学校への訪問を検討・実施し、本校の特色化と魅力化を図る。</p>									
<p>(数値目標2)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>・入選中進対倍率</td> <td>1.10倍</td> <td>(前年度 0.62倍)</td> </tr> <tr> <td>・入選推薦応募倍率</td> <td>2.0倍</td> <td>(前年度 1.54倍)</td> </tr> <tr> <td>・入選一次(前期) 応募倍率</td> <td>1.15倍</td> <td>(前年度 0.75倍)</td> </tr> </table>						・入選中進対倍率	1.10倍	(前年度 0.62倍)	・入選推薦応募倍率	2.0倍	(前年度 1.54倍)	・入選一次(前期) 応募倍率	1.15倍	(前年度 0.75倍)
・入選中進対倍率	1.10倍	(前年度 0.62倍)												
・入選推薦応募倍率	2.0倍	(前年度 1.54倍)												
・入選一次(前期) 応募倍率	1.15倍	(前年度 0.75倍)												